

# 船橋市立医療センターNews No.47

●発行年月日/令和3年1月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 丸山 尚嗣  
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>



「松本城（長野県）」当院職員撮影

## Withコロナの新年を迎えて

船橋市立医療センター院長 丸山 尚嗣

昨年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。新しい年を迎えた今も未だ収束の見通しは立っていません。しかしながら有効なワクチンが開発され、国によっては既に投与が開始されており、その効果に期待したいところです。重苦しいトンネルを抜けて、この感染症をあまり気にしなくてもよい明るい未来が早く訪れることを願ってやみません。

当院は新型コロナウイルス感染症にもしっかり対応しつつ、従来どおり脳卒中、心臓病や外傷をはじめとする救急疾患、がん等の悪性疾患の診療に対応する地域の基幹施設としての役割を引き続き継続してまいります。市民の皆様におかれましては受診を控えて病気が手遅れにならないうちに、かかりつけ医に相談、あるいは緊急の場合には救急受診してください。

さて、今回の特集は脳卒中センターです。脳卒中は発症から出来るだけ早く診断して最善の治療を行えるかどうかで、その後の患者さんの生活の質（QOL）が大きく左右されます。ところが脳卒中の発症は時間を選びません。当院は24時間いつでも迅速に対応できる体制（7名の脳神経を専門とする医師と脳卒中ケアユニット）を整えて、一般社団法人日本脳卒中学会から一次脳卒中センターに認定されています。この原稿を書いている今も救急車のサイレンが3台連続して聞こえ、救急患者さんに対応しています。当院に来院される皆様には、新型コロナウイルスの院内感染防止にも引き続きご協力をよろしくお願い致します。

### 目次

特集 脳卒中センターをご紹介します …… 2～3	専門的な知識と技術をもつ看護師が活躍しています！
日本内科学会関東地方会奨励賞・指導医賞／ JATS case presentation awards／	／研修医のつぶやき …… 5
骨粗鬆症リエゾンチーム(骨づくり共同体)が始動！ … 4	医療を学ぼう！in 図書館／防災訓練 …… 6
	救命救急センターの現場から／公開医療講座／職員募集… 7
	外来担当医師一覧表 …… 8

# 脳卒中センターを ご紹介します

脳卒中センター長 内藤 博道

## はじめに

突然発症する脳卒中（脳梗塞、くも膜下出血、脳出血）は、意識状態が悪くなったり（意識障害）、言葉がわからなくなったり（失語症）、半身が麻痺する（片麻痺）など、とても深刻な疾患です。完全に回復する場合がありますが、多くの方に症状が残り（後遺症）、亡くなる方も少なくありません。刻一刻と病状が悪化するため、超急性期からの治療が非常に大切です。

脳卒中センターは、脳卒中の超急性期治療を行い、急性期リハビリテーション、再発予防をトータルで行っています。



## 脳梗塞

脳の動脈が血栓によって閉塞し、その範囲の脳が壊死する疾患です。脳梗塞の部位によって、失語症、片麻痺などの症状があらわれます。

突然発症することが特徴です。できるだけ早く治療することで、脳を壊死から救える可能性が高まります。

### (1) t-PA 静注療法

発症から4.5時間以内に血栓を溶かす薬であるt-PAを点滴で投与します。起床時に発症に気が付いた場合でも、MR検査の所見によっては投与可能です。

血栓を溶かして詰まった血管を再開通させ、脳を守る治療です。

### (2) 機械的血栓回収療法

脳の太い動脈（主幹動脈）が血栓により詰まった場合、t-PA静注療法だけでは再開通が困難です。血栓回収療法は、カテーテルを用いて血栓を機械的に取り除き、閉塞した主幹動脈を再開通させ、脳を守ります。

## くも膜下出血

脳の主幹動脈に動脈瘤が生じ、破裂して出血する疾患です。突然の激しい頭痛が特徴ですが、重症の場合は、意識障害をとまいません。死亡率や、重い後遺症をきたす率が高い大変重篤な疾患です。再出血予防のため、急性期に動脈瘤を処置する手術が必要です。

### (1) 開頭・クリッピング術

開頭し、顕微鏡下に破裂した動脈瘤を露出し、クリップという器具で動脈瘤の根元を挟みつけ、瘤の中への血流を遮断し、再出血を予防します。

### (2) コイル塞栓術

特殊な細いカテーテル（マイクロカテーテル）を動脈瘤内に誘導してコイルを詰め、再出血を予防します。

クリッピングとコイル塞栓術はそれぞれ長所と短所があります。動脈瘤の位置や大きさ、形などを十分に検討し、より有利な方を選択しています。

## 脳出血

脳の中を通る細い動脈（穿通枝動脈）が高血圧で破綻し、脳内に血腫を形成する疾患です。

出血した部位や血腫の大きさにより、意識障害、失語症、片麻痺などの症状が発症します。

基本的には、血圧管理を中心とした内科的治療を行います。血腫が大きく症状が悪化する場合は手術を行う場合があります。

### (1) 開頭・血腫除去術

主に脳内の血腫に対して行います。全身麻酔下に開頭し、顕微鏡を用いて血腫を除去します。

### (2) 内視鏡下血腫除去術

主に脳室内の血腫に対して行います。穿頭（頭蓋骨に10円玉大の穴をあける）して内視鏡を挿入し、内視鏡内の管より血腫を吸引除去します。局所麻酔での手術も可能であり、負担の少ない（低侵襲）手術です。



## 脳卒中を疑う症状－FAST－

脳卒中は発症から治療までの時間が、短ければ短いほど、脳を守る可能性が高まります。

脳卒中を疑う症状を是非、覚えてください。

F：Face drooping；顔面が垂れ下がる（片方の顔面が麻痺する）

A：Arm weakness；腕が下がる（片方の腕の麻痺）

S：Speech difficulty；スピーチがおかしい（ろれつが回らない、話がおかしい、言葉が出ない）

T：Time to call 119；上記の症状がひとつでもみられたらすぐに119番に電話

「FAST（顔・腕・ことば）で119」と覚えてください。

当院の脳卒中センターは、24時間365日、脳卒中診療にあたっております。令和元年9月に、当院は診療体制やこれまでの実績が評価され、一般社団法人日本脳卒中学会から一次脳卒中センターに認定されました。これからも船橋市内、東葛南部地域において、脳卒中診療の中心的役割を担っていく所存です。

## 消化器内科の小林照宗部長・伊在井亮医師が 日本内科学会関東地方会奨励賞・指導医賞を受賞！

この度、私は学会で十二指腸の消化管間質腫瘍（Gastrointestinal stromal tumor；GIST）という病気について「腎腫瘍の術前検査にて十二指腸に多血性腫瘍を認めた51歳女性の1例」という症例報告を行い、日本内科学会関東地方会奨励賞を受賞しました。症例報告とは、珍しい病気や診断が難しかった患者さんなどの診断の経緯や治療の経過などを学会で発表し、今後の医療に役立てていくものです。今回当院での経験が少しでも医療の発展に貢献できたと思うと、とても光栄です。また、このような発表ができるのは、指導医の先生方や他科の先生方の協力のおかげであると日々感謝しています。患者さん一人一人と向き合いながら、今後も消化器内科医師として日常診療や学術分野においての向上に努めていきたいと思っております。（伊在井）

この度、伊在井医師の発表した演題で日本内科学会関東地方会指導医賞を受賞しました。指導医賞については令和2年2月より新設されたもので、第1回目でこのような賞をいただいたことを光栄に思っております。優秀な後輩を持ち、指導医として大変助かっています。（小林）



写真左：小林部長  
写真右：伊在井医師

## 伊藤駿太郎医師が第183回日本胸部外科学会関東甲信越 地方会でJATS case presentation awardsを受賞！



令和2年3月まで当院で勤務していた心臓血管外科の伊藤医師が、当院在籍時の発表で第183回日本胸部外科学会関東甲信越地方会においてJATS case presentation awardsを受賞しました。なお、伊藤医師は現在、千葉県こども病院で活躍されています。

今回報告した症例は、「高度の動脈硬化がある患者さんが、胸部の強い打撲をきっかけに急性大動脈解離を発症」したもので、その発症の機序が珍しく報告させて頂きました。学会や論文等から新しい知識を得るのはもちろんですが、今後もこういった学術活動を通して自分から発信し続けられるよう努力したいと思っております。

## 骨粗鬆症リエゾンチーム（骨づくり共同体）が始動！

骨粗鬆症リエゾンチーム 長 池之上 純男

骨粗鬆症があると軽微な外力で骨折がおきてしまいます。そして一度骨折すると、また違う部位に骨折がおき、徐々に日常生活を送ることが大変になっていきます。そこで骨粗鬆症に伴った骨折で入院してきた患者さんを対象として、さらなる骨折を予防していく取り組みを始めました。医師のほかに、骨粗鬆症マネージャーの資格を取得した看護師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士が協力して、骨折する危険性を評価し、薬物治療・運動療法・栄養指導を行っていきます。退院後はクリニックの先生と連携して治療を継続しながら、当院の外来でも検査をして治療効果を確認していきます。二度目の骨折を食い止めるべく、ぜひ我々と一緒に骨粗鬆症の治療を継続していきましょう。



※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。



# 専門的な知識と 技術をもつ看護師が活躍しています！

当院では特定行為（診療の補助であって、看護師が行う医療行為のうち、手順書により行う場合には実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるものとして定められた行為）に係る研修を修了した看護師が活躍しています。



## ●皮膚・排泄ケア認定看護師 渡邊 理恵

キズに壊死組織（血の通わなくなった組織）や異物が残っていると感染の原因となったり、治りを妨げてしまいます。このようなキズを治すには、体や患部の環境を整えることが大切です。特定行為研修（創傷管理モデル）を修了したことで、壊死組織の除去や陰圧閉鎖療法（キズの治りを助ける機械の取り付け）を行えるようになりました。これらの処置などをタイムリーに行い、より早くキズが治るようにケアをしています。



壊死組織の除去



陰圧閉鎖療法



## ●糖尿病看護認定看護師 野間 弘子

看護外来で糖尿病患者さんの療養支援をさせていただいています。糖尿病は食事制限など「我慢」というイメージが強いかもしれませんが、できるだけ患者さんが生活を楽しみながら治療に疲れない方法を一緒に探していけるようにお話しています。最近では、患者さんの全身をみられるようにするため、「特定行為研修」を修了し、糖尿病分野のインスリン調整を含めた支援を行っています。今後も糖尿病患者さんのお力になりたいと思っています。

## 研修医の つぶやき



### 初期臨床研修医1年 安藤 晃佑

新たな年を迎え、厳しい寒さの中にもすがすがしさが感じられる季節となりました。日本各所から冬の便りも届いておりますが、新型コロナウイルスの影響から遠くも出来ておらず、未だ先の見えないこの状況に辟易としております。

さて、当院での初期臨床研修は早くも9ヶ月以上が経ち、各科を研修させていただく中で手技を含め様々な経験をすることができました。9ヶ月の経験ではありますが、入職した当初に苦労した基本的な手技や身体診察を含めた医療行為にも徐々に慣れて、今では少しの余裕を持って研修に取り組んでいることを実感しています。しかし

未だ至らないことも多く、上級医の先生方の医学的知識、診療を間近にして自身の未熟さを痛感する毎日です。これからの研修の日々を疎かにせず、目の前のことに集中し、少しずつでも成長できるよう医療に邁進したいと思っております。

最後に、寒さはこれからが本番のようですが、皆様、体調をくずさぬようくれぐれもご自愛ください。



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

## 医療を学ぼう！ in 図書館

船橋市西図書館では、毎月医療講演会と相談会を開催しており、また、その他の市内図書館でも出張講演会を開催しています。令和2年2月以降、市内図書館の休館・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講演会を中止しておりました。11月より各種イベントが再開し、市民の方からの要望もあることから、中止していた医療講演会を再開いたしました。なお、当日は座席の間隔を空け、マスクの着用、手指消毒、検温を行い、相談会・質疑応答は実施しないなど、感染予防策を講じた上で開催しました。



### ●最近の講演会の様子

#### 医療講演会（船橋市西図書館）

第50回 11月19日 「股関節の痛くなる病気について」

リハビリテーション科部長 池之上 純男

股関節が痛くなる4つの病気に焦点をあて、症状・原因・治療について医師より詳しくお話がありました。手術については、使用する医療機器や手術方法、合併症まで具体的な説明があり、手術後のリハビリや筋力トレーニングの資料も配布されました。感染対策下で再開しましたが、参加された方からは「ソーシャルディスタンスが保て安心して参加できました」という声も頂きました。

### ●今後の講演会の予定

**1月以降の医療講演会は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、感染のリスクを避けるため、当面の間、再び中止させていただきます。**再開が決定しましたら、「広報ふなばし」や船橋市図書館及び当院のホームページでお知らせいたします。

患者支援センター 宇美 由美

## 11/29 防災訓練を実施しました

今年も災害拠点病院として更なる機能強化を図るため、平日の午前9時、市内で震度6強の地震が発生したという想定の下、様々な感染症拡大防止策を講じた上で、防災訓練を実施しました。

主な訓練内容は、災害対策本部の設置訓練、各部署からの被害状況報告訓練、トリアージセンター開設及びトリアージ訓練、各エリアの設営訓練、患者受入訓練です。

例年の訓練と異なる点は、新型コロナウイルス感染症患者・感染疑い患者への対応です。

具体的には、感染区域・清潔区域の区分け、検温の実施、処置者のPPE（感染防護具）着用の徹底等を行いました。

災害時においても、感染症対策やプライバシーの保護等は、考慮すべき重要事項です。平時から高い意識を持ち、災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるような体制づくりを進めていきます。



緑エリア問診



検温・患者搬送



赤エリア処置

**病院ボランティア（患者さんの案内や図書のリクエストなど）を募集しています。詳しくは、医事課まで**

## 救命救急センターの現場から —冬は循環器疾患の季節?—

みなさんは、冬に循環器疾患、すなわち急性心筋梗塞症やうっ血性心不全、急性大動脈解離が多くなるといわれているのをご存じでしょうか。これは日本だけでなく他の国でも同様の報告があります。

原因としていくつかの要因が推定されています。一つ目は、急に寒いところに行くと体が引き締まると言いますが、体の一部を寒冷にさらすことで血管が収縮し、血圧が上昇することです。これを寒冷昇圧反応といい、自律神経検査の1つとして知られています。この血圧上昇が血管や心臓にストレスを加えるということが推測されています。二つ目は、悪玉コレステロールといわれるLDLコレステロールの増加で、これが冬季に上昇することを報告している論文もあります。他にも血液の固まる程度が変化するなどの報告もあり、季節により色々なことが変化する影響と考えられています。循環器疾患発症の季節変動は、治療の進歩、住環境の改善や地球温暖化などにより、以前より少なくなっているという報告もありますが、最近でも報告されています。

季節の影響をできるだけ回避するには、薬を内服している方は忘れずに内服し、普段にも増して



食生活に注意したり、寒さに気をつけながら適度な運動を心がけたりしてください。特にトイレやお風呂の脱衣所など、急な温度変化が想定される場所は暖房設備を見直すことを検討してください。そして、運動時に胸が苦しくなったり、普段より息切れが強くなったりした方は早めに病院で検査を受けるようにしてください。また、運動をしていなくても症状がいつもより強かったり、15分以上症状が続いたり、症状が増悪していく場合には救急車を要請してください。

あなたの知識で「いのち」を救えます!

救命救急センター長 角地 祐幸

### 1月開催予定の船橋市立医療センター公開医療講座の中止について

当院では年に4回、市民文化創造館（きららホール）で「船橋市立医療センター公開医療講座」を実施しておりますが、1月に開催を予定しておりました公開医療講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止させていただくこととなりました。

今後の予定につきましては、決まり次第「広報ふなばし」や当院のホームページでお知らせいたします。

### 令和2年度 募集概要

資格をお持ちでない方もできるお仕事です!

## 看護補助者(会計年度任用職員)募集

●資格/特になし ●時給/ 1,112円 ※勤務条件に応じて賞与あり

※詳細は当院ホームページ (<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>) をご覧ください。



# 外来担当医師一覧表

令和3年1月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	関 厚佳/石井清文	多部田山士/清水英樹	下山 立志	福澤 茂	黒木嗣子/伊藤 拓	(月)は、第1・3・5関、第2・4石井 (火)は、第1・3・5多部田、第2・4清水 (金)は、第1・3・5黒木、第2・4伊藤
	呼吸器	伊藤 拓 黒木 嗣子 東郷 聖子 石井清文/関 厚佳	天野 寛之 中村 純 関 厚佳 安藤 健/笠松伸吾 伊在井 亮	葉山 奈美 藤田 哲雄 安藤 健/藤井浩夕 小林照宗/東郷聖子 石井清文/渡部主樹	中村 祐之 中村 純 水本 英明 伊在井亮/渡部主樹 石井 清文	天野 寛之 藤田 哲雄 小林 照宗 藤井 浩夕 笠松 伸吾	一段目と三段目の医師は、原則、 消化器内科からの予約患者のみ (水)安藤が午前、藤井が午後 (水)石井が午前、渡部が午後 (月)は、第1・3・5石井、第2・4関 (火)は、第1・3・5安藤、第2・4笠松 (水)は、第1・3・5小林、第2・4東郷 (木)は、第1・3・5伊在井、第2・4渡部 (火)伊在井、(木)石井は午後のみ
	消化器						
	代腫瘍	謝 岩岡 秀明	山本 雅	栗田 健市 平野 聡	岩岡 秀明 平野 聡	岩岡 秀明	
	腎臓 リウマチ・膠原病	(午前 リウマチ・膠原病) 清水英樹/窪田沙也花 (午後 腎臓内科) 清水 英樹 内山 貴史 稲垣 雅行 芝山納恵瑠	(午前 リウマチ・膠原病) 松野 裕樹 (午後 腎臓内科) 松野 裕樹 黒岩 信行 沖野 晋一 黒岩信行/石脇 光	岩田 曜 内山貴史/林智彦/芝山納恵瑠 内山貴史/丘 慎清	黒岩 信行 丘 慎清 沖野晋一/岩田 曜	(午前 腎臓内科) 清水 英樹 (午後 リウマチ・膠原病) 清水 英樹 福澤 茂 石脇 光 林 智彦	完全予約制 (月)午前は第1・3・5窪田、第2・4清水
心臓血管センター	循環器科 新患						(火)黒岩は第2・4 (水)第1・3・5林・芝山、第2・4内山 (火)第1・3・5黒岩、第2・4石脇 (水)第1・3・5内山、第2・4丘 (木)第1・3・5沖野、第2・4岩田 午後1:30～ (火)第2高原、第1・3・4・5茂木
	心臓血管外科	(手術日)	高原善治/茂木健司	(手術日)		(手術日)	
緩和ケア内科	新患		武田 英男		武田 英男		午前9:00～ 予約患者のみ
精神科	再来	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	大矢 雅樹	新患は事前予約が必要(電話も可) (木)宇田川は隔週 (金)大矢は午後のみ
小児科		伊賀 裕子 武田真梨子	佐藤 純一 河内 遼 今泉 孝章	丹羽 淳子 甲斐 千明	木谷 豊 河内 遼	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	新患(消化器一般)	(交替医)	(交替医)	(交替医)	(交替医)	(交替医)	(水)丸山は午前のみ
	消化器・一般	夏目 俊之 吉岡 隆文 青柳 智義 南村 真紀	佐藤やよい 松崎 弘志 吉原 ちさと	丸山 尚嗣 野手 洋雅 青柳 智義 (交替医)	田中 元 貝沼 修 仙波 義秀	吉岡 隆文 澤田 尚人 松崎 弘志 南村 真紀	
整形外科	(交替医) (手術日)	池之上純男 高瀬 完 櫻本 隆宏	三村 雅也 鮫田 寛明 染谷 幸男	(交替医) 秋山 友紀 橋本 瑛子 (手術日)	(交替医) 北條 篤志 (手術日)	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可) (木)橋本は第1のみ	
形成外科	(手術日)	小野紗耶香 浅井麻衣香	小野紗耶香 浅井麻衣香	乳房再建外来 (手術日)	小野 紗耶香 浅井 麻衣香		
脳神経外科	内藤 博道 新美 淳 根本 文夫	(交替医) (手術日)	畑山 和己 森脇 拓也 内藤 博道	安間 芳秀 (交替医) (手術日)	根本 文夫 田坂 研太 畑山 和己	(月)根本、(水)内藤、(金)畑山 は新患患者のみ (木)安間は第1のみ	
脳神経内科		鶴岡 淳		宗像 紳		完全予約制 (木)第2・4 午後1:30～	
呼吸器外科	一ノ瀬修二 荒牧 直	(手術日)	(手術日)	一ノ瀬修二 木下 孔明 荒牧 直	(手術日)		
皮膚科	深田 義仁 山本 洋輔 (交替医)	今関 梓	深田 義仁 奥山智香子	深田 義仁	今関 梓 大田 玲奈	完全予約制	
泌尿器科	(交替医)	佐藤 信夫 武井 亮憲	佐藤 信夫 (交替医)	佐藤 信夫 大塚耕太郎	佐藤 信夫 木下 涼		
産婦人科	齊藤 俊雄 名古ゆり恵	林 茂空 森 麻子 (手術日)	齊藤 俊雄 (手術日)	佐々木直樹 (交替医)	佐々木直樹 森 麻子 (手術日)		
眼科	太和田昌枝 (交替医) (手術日)	松枝 美文	上原 七生 松枝 美文 (手術日)	太和田昌枝 小林 晋二	(交替医) 小林 晋二	(月)・(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)	
耳鼻いんこう科	砂金 美紀 大熊 雄介	(交替医) (手術日)	小林 皇一 大熊 雄介	(手術日)	砂金 美紀 小林 皇一		
放射線治療科	有賀 隆 荒木 仁	荒木 仁 小野澤正勝	有賀 隆 小野澤正勝	荒木 仁 小野澤正勝	荒木 仁 小野澤正勝	完全予約制	
麻酔科	(交替医)	(交替医)	(交替医)	(交替医)	(交替医)		
麻酔科口腔外科	川崎晃平/村野彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	午前9:00～11:00 予約患者のみ (月)川崎が午前、村野が午後	
特殊外来	女性専用(内科)			戸出のぞみ			午前 予約患者のみ(電話も可) 午後1:30～ 予約患者のみ(電話も可)
	脳神経内科(内科)						午後1:30～
	ステントグラフト外来(心外)		櫻井 学				午後1:00～
	ペースメーカー外来(心内)			(交替医)			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児循環器(小児)	佐藤 純一 河内 遼	村社 歩美	佐藤 純一			
	小児神経(小児)		高梨潤一(月1回)		牧野道子(月1回)/ 内山 薫(月2回)		午後 予約患者のみ
	小児腎臓(小児)				三浦健一郎(月1回)		午後 予約患者のみ
小児アレルギー(小児)			下条直樹/薄井 香			月2回 午前9:00～予約患者のみ	
小児内分泌(小児)					杉原 茂孝	月1回 午前9:00～予約患者のみ	
小児外科(外科)				小松 秀吾		午前のみ(午後手術)	
遺伝カウンセリング(外科)					青柳 智義	午後1:00～4:00 予約患者のみ(電話も可)	

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギー、小児内分泌の予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。